



プレスリリース

「梧桐書院」は大きく生まれ変わります！

1961年（昭和31年）設立の株式会社梧桐書院は、2002年に民事再生計画案に基づき、再生債務者・能登印刷株式会社をスポンサーとし弁済を継続し、2007年8月に弁済の完済により、すべての再生手続きが終了しました。

その間、書店、取次、関係各社には多大なご迷惑をかけ、取引や流通の不備が生じていたこともありましたが、取引の正常化を図り、新たなスタッフによる新体制で出版事業に取り組んでまいります。その新体制による第1弾として、2009年11月、新刊5点を刊行します。

これを皮切りに、実用書版元のイメージを刷新するラインナップを続々と予定しています。

微力ながら、逆風吹き荒れる出版業界の発展のために力を尽くすべく、さまざまなチャレンジをしてまいります。

■2010年1月までの新刊ラインナップ

- 2009年11月 立川談志『談志 最後の落語論』（「談志 最後の三部作」の第1弾）
- 森田正光『大手町は、なぜ金曜に雨が降るのか』
- 信田さよ子『タフラブという快刀』
- 岡崎太郎『夢は、無計画のほうが実現する』
- 藁谷久三『1行読んでおぼえる難読漢字』
- 2009年12月 近松門左衛門・原作 大伴茫人・加工『近松心中 加工訳』
- （「あおぎり文庫」シリーズ第1弾「さらさら読む古典①」、後述）
- 若桜木虔『ブレインツイスター 地理の難問』
- 田中郁代『カード式 簿記の仕訳完全マスター』
- 2010年1月 羽生善治『羽生対局から40問！ 投了図からの詰め将棋』
- 樋口一葉・原作 大伴茫人・加筆『樋口一葉 加筆版』
- （「あおぎり文庫」シリーズ第1弾「さらさら読む古典②」、後述）
- 大平一枝『美しい日本の玉手箱』





■「あおぎり文庫」第1弾! 「さらさら読む古典」(とりあえず3巻)

梧桐書院は創業以来、趣味・生活実用書をメインに発刊してきましたが、11月からの新刊ラインナップの通り、ビジネス、カルチャー、ノンフィクション、社会・心理等の一般書ジャンルの書籍刊行を大幅に増やしていきます。

また、新ジャンルとして「ライト文芸」を設け、老若男女が気軽に楽しめる文芸作品(小説、エッセイ、詩歌、文芸批評など)をラインナップしたシリーズ「あおぎり文庫」を不定期に刊行します。

▼「あおぎり文庫」体裁

ブックデザイン：鈴木成一デザイン室

判型：四六変形(予定)

本文頁数：160～176頁

「あおぎり文庫」第一弾は、12月から発刊予定の「さらさら読む古典」(とりあえず3巻)です。著者の大伴茫人氏は、田村秀行の別名で、「現代文の田村」として有名な方です。日本の古典文学にはすばらしいものが数多くありますが、現状では「原文+注釈」か「現代語訳」のみでしか読むことができません。そこで、まったく新しい加工法で、原文の雰囲気を楽しみながら、現代の人たちにも「さらさらと古典を読んで」もらおう、というのが本シリーズです。

特長① 作品の「訳」は一定の方法をとらず、作品ごとに違った加工をしています。

特長② 《加工訳》という形で、著者がナレーションのごとくに解説を加えていきます。

特長③ 作品によっては、旧かなをそのまま使い、著者が絶妙な加筆を入れる《加筆版》を採用。

特長④ 注釈はいれず、本文のみで構成します。

▼2010年2月までのラインナップ

さらさら読む古典①『近松心中 加工訳』(曾根崎心中/心中天の綱島/冥途の飛脚)

さらさら読む古典②『樋口一葉 加筆版』(にぎり江/大晦日/十三夜 付録・雪の日)

さらさら読む古典③『泉鏡花 加工訳』(高野聖/眉かくしの霊)

■書店・読者への特典

▼11月刊行予定の立川談志著『談志 最後の落語論』は、2009年から2010年にかけて刊行予定の「談志 最後の三部作」の第一弾となります。全三巻購入の方には、今はまだ公表できない素敵な読者プレゼントを考えています。また、刊行記念のイベント計画も進行中です。

▼同じく11月刊行予定の岡崎太郎著『夢は、無計画のほうが実現する』では、購入の方限定で、応募者全員にオリジナル手帳や、抽選でセミナーCDのプレゼント企画を実施します。

▼11月刊に限らず、今後のラインナップの中でも、書店での有力著者による講演会やセミナー、取材の提供など、書店の販売促進の一助となる企画を提案・実践したいと思います。

▼今後の主力注目新刊書籍の実売上位の書店に向けて、「当たりくじ付きの報奨金」など、夢のある売上還元を行うことを準備しています。

この件についてのお問い合わせ

梧桐書院 常務取締役 能登康子 yasunotomedia.com

編集部編集長 松戸さち子 s-matsudo@notomedia.com

東京都千代田区神田和泉町1-6-2 神田ビル203

TEL: 03-5825-3620 FAX 03-5822-2773

ホームページをリニューアルしました

<http://www.gotoshoin.com/>



■ホームページで営業部WEB通信「営業万歩計」開始！

梧桐書院のホームページは、2009年9月に大幅リニューアルしました。新しく、WEB連載が開始し、各方面から好評を得ています。

▼WEB連載のラインナップ

- ①森田正光の「乱読日記」 お天気キャスターの草分けで、不況知らずの経営者でもある森田さんが、毎回独自の視点で本を選び、ディープな解説で紹介します。
- ②土屋 敦の「男子の料理」 生活情報総合サイト「オールアバウト」で部門アクセス数上位に君臨する土屋さんが、美文と美食で綴る、読むだけでもおいしい連載です。
- ③立川志らくの「怒らないでください。」 人間は悪口を言う生き物だ。しかし大抵の人は蔭で言う。師匠は、この連載でおおっぴろげに悪口を言い放ちます。ただし、それが「芸」のイキに達しているから、抱腹絶倒なのです。
- ④細谷 功の「象の鼻としっぽ」「地頭力」の細谷さんが新切り口で執筆。連載テーマは「コミュニケーションギャップのメカニズム」。ビジネスマン必読です。
- ⑤吉太郎の「傷だらけの人生」 おひかえニヤさって、梧桐書院のご近所に住む茶トラ猫です。朝帰りは当たり前、けんかつ早くて生傷のたえない任侠猫の日々を追います。

そして、10月下旬からは梧桐書院営業部の面々が不定期に発信する、営業部WEB通信「営業万歩計」を開始します。

新刊の情報やイベントの様子、編集部とのいざこざ、上司とのやりとり、ボヤキ、感激、ホロリとしたことなどを綴っていく予定です。

なにはともあれ、版元営業は書店へ行ってナンボの世界。ついでに、ナンボ？ も計っちゃえ、メタボも気になるし……ということで、営業3人が歩数計を持ち、日々の営業歩数を合算して、「今月の累計歩数」と「消費カロリー」も明記することにしました。

梧桐書院のホームページは、今後、連載を増やし、新企画を盛り込む等、単なる書籍紹介だけではない、各方面の方々に楽しんでいただけるよう、常に進化していく予定です。

この件についてのお問い合わせ

梧桐書院 常務取締役 能登康子 yasun@notomedia.com

編集部編集長 松戸さち子 s-matsudo@notomedia.com

東京都千代田区神田和泉町1-6-2 神田ビル203

TEL: 03-5825-3620 FAX 03-5822-2773

ホームページをリニューアルしました

<http://www.gotoshoin.com/>